

## ○調査結果の概要

### 1. 貿易企業の概要

#### ・貿易実績のある企業 234 社

2022 年(暦年)における輸出企業は 184 社(前年 175 社)、輸入企業は 111 社(同 110 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 61 社(同 55 社)で貿易企業は 234 社(同 230 社)となった。

所在地別では、松江市が 65 社と最も多く、続いて出雲市 62 社、浜田市 21 社の順となった。

### 2. 貿易実績

#### ・島根県の 2022 年貿易額は 6,349 億円

県内企業の 2022 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 6,349 億円(前年 4,667 億円)であり、前年比 36.0%の増加となった。

輸出額 3,485 億円(前年 3,406 億円)に対し、輸入額は 2,865 億円(前年 1,261 億円)となっており、620 億円の輸出超過(前年は 2,145 億円の輸出超過)となった。

#### (1) 輸出の実績

##### ・輸出額は 3,485 億円 輸出全体の 73.4%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2022 年(暦年)の県内企業の輸出額は 3,485 億円(前年 3,406 億円)であり、対前年比で 2.3%の増加となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 2,557 億円(構成比 73.4%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 660 億円(同 19.0%)となっており、両品目で輸出全体の 92.4%を占めた。地域別では、アジアが 781 億円(構成比 22.4%)、ヨーロッパが 485 億円(同 13.9%)、北アメリカが 170 億円(同 4.9%)となっており、この三地域で全体の 41.2%を占めている。国別輸出額で見るとドイツが 327 億円(構成比 9.4%)、中国が 246 億円(同 7.1%)、韓国が 178 億円(同 5.1%)、アメリカ合衆国が 151 億円(同 4.3%)となっている。

輸出形態では、直接輸出が 700 億円(構成比 20.1%)、間接輸出が 2,785 億円(同 79.9%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の 30.3%、次いで関東地域が 9.0%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、境港が 0.4%、浜田港が 0.3%となっている。

## (2) 輸入の実績

### ・輸入額は2,865億円 輸入全体の63.5%が鉱物性生産品

2022年(暦年)の県内企業の輸入額は2,865億円(前年1,261億円)であり、対前年比で127.2%の増加となった。

輸入を品目別にみると、「鉱物性生産品」が1,819億円(構成比63.5%)と最も多く、次いで「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が396億円(同13.8%)、「卑金属及び同製品」が280億円(同9.8%)となっている。地域別では、アジアが1,317億円(構成比46.0%)と最も多く、オセアニアが1,088億円(同38.0%)、北アメリカが236億円(同8.3%)と続いている。国別輸入額で見ると、オーストラリアが1,083億円(構成比37.8%)、インドネシアが555億円(同19.4%)、中国が542億円(同18.9%)、カナダが206億円(同7.2%)となっている。

輸入形態は、直接輸入が1,979億円(同69.1%)、間接輸入が885億円(同30.9%)となっており、直接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは三隅港で全体の62.4%を占めた。なお、その他の山陰地方の港の荷揚げは、境港3.7%、浜田港2.8%となっている。

## 3. 海外直接投資及び外国企業との提携

### ・投資先は中国とタイが11件、提携先は中国が最多の17件

海外への投資案件は全体で24社33件となっており、投資先を国別にみると、中国とタイがともに11件となっており、地域別で見るとアジア全体で90.9%を占めている。

形態別では、独資16件、合併9件、駐在員事務所6件、支店1件、その他が1件となっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で25社64件あり、提携先を国別にみると、中国が17件(構成比26.6%)と最も多く、次いで韓国が5件となっている。地域別にみると、アジアが48件で75.0%を占め、ヨーロッパが11件で17.2%、北アメリカが4件で6.3%となっている。

形態別では、販売代理店契約39件、委託加工貿易12件、技術供与9件となっている。